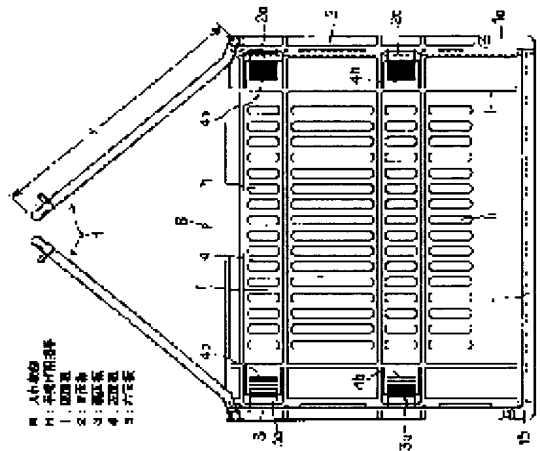


(11)Publication number : 2002-300913  
(43)Date of publication of application : 15.10.2002

**A45C 3/04**

(72)Inventor : SAIYAMA KENICHI



[Date of request for examination]  
[Date of sending the examiner's decision of rejection]  
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
[Date of final disposal for application]  
[Patent number]  
[Date of registration]  
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-300913

(P2002-300913A)

(43) 公開日 平成14年10月15日 (2002. 10. 15)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

A 4 5 C 3/04

識別記号

F I

A 4 5 C 3/04

データベース\* (参考)

A

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-107438(P2001-107438)

(22) 出願日 平成13年4月5日 (2001. 4. 5)

(71) 出願人 501139711

有限会社アパス

石川県加賀市黒瀬町ヲ133番地 3

(72) 発明者 斉山 健一

富山県高岡市上関町 7-11

(74) 代理人 100105382

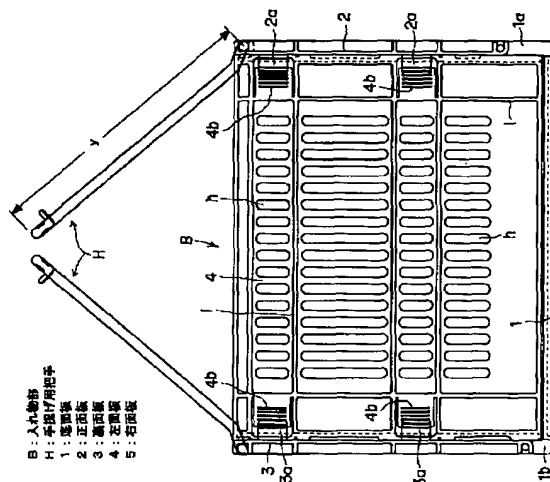
弁理士 伴 正昭

(54) 【発明の名称】 買い物かご

(57) 【要約】

【課題】省資源化（ポリ袋の使い捨てをなくする）、コンパクト化とを同時に実現し、持ち運びに便利で、組立時には箱形状が保たれる買い物かごを提供する。

【解決手段】入れ物部Bと手揚げ用把手Hとからなる。入れ物部Bは、方形状の底面板1と、該底面板1の前後縁部にそれぞれ起伏可能に連結される正面板2及び裏面板3と、底面板1の左右縁部にそれぞれ起伏可能に連結される左面板4及び右面板5とからなる。手揚げ用把手Hは、正面板2及び裏面板3に起伏可能に装着する。正面板2及び裏面板3は底面板1の前後縁部にそれぞれ軸着すると共に、左面板4及び右面板5とは底面板1の左右縁部にそれぞれ可撓体で連結する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】入れ物部Bと手提げ用把手Hとからなる買い物かごにおいて、入れ物部Bは、方形状の底面板1と、該底面板1の前後縁部にそれぞれ起伏可能に連結される正面板2及び裏面板3と、底面板1の左右縁部にそれぞれ起伏可能に連結される左面板4及び右面板5とからなり、手提げ用把手Hは、正面板2及び裏面板3に起伏可能に装着することを特徴とする買い物かご。

【請求項2】正面板2及び裏面板3は底面板1の前後縁部にそれぞれ軸着されると共に、左面板4及び右面板5とは底面板1の左右縁部にそれぞれ可撓体6で連結されることを特徴とする請求項1記載の買い物かご。

【請求項3】手提げ用把手Hは、正面板2及び裏面板3にスライド及び起伏可能に装着したことを特徴とする請求項1記載の買い物かご。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、買い物かごに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、スーパーマーケット等での買物に便利で携帯できるショッピングバッグとして種々の発明が提案されている。例えば、登録実用新案第3049733号公報（1998.4.1登録）には、可撓性のある生地材料からスーパーマーケットの店内買物籠に適合する略直方体形のバッグ本体を形成し、半折り状態に扁平化可能とすると共に、半折り状態を上記底面の周辺部に取り付けたファスナーの閉合操作によって固定維持し得るように定め、バッグ本体の両長辺には向かい合う一対の携帯ベルトを、各々取り付けたものが開示されている。

【0003】また、実開平7-23424号公報では、「風呂敷バッグ」として、スーパーなどで、サービス手提げ袋を貰う代りに、その場でセットアップされるものとして、正方形で平面的な風呂敷様のものに持ち手を取り付けたものが提案されている。更に、登録実用新案第3063117号（1999.8.4登録）公報には、コンパクトに折り畳め、且つ、移動にも都合が良い物として、「折り畳みバッグ」が提案されている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記従来技術のものに更に改良を加えたもので、その課題とするところは、持ち運びに都合がよく、且つ、組立・成形時には箱形状が保たれる買い物かごを提供することにある。また、本発明の更なる課題は、省資源化（使い捨てのポリ袋をなくする）と、コンパクト化（買い物に行くときは、折り畳み可能）とを同時に実現することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明は、下記的手段を講じた。請求項1記載の買い物かごは、入れ物部Bと手提げ用把手Hとからなる買

い物かごにおいて、入れ物部Bは、方形状の底面板1と、該底面板1の前後縁部にそれぞれ起伏可能に連結される正面板2及び裏面板3と、底面板1の左右縁部にそれぞれ起伏可能に連結される左面板4及び右面板5とからなり、手提げ用把手Hは、正面板2及び裏面板3に起伏可能に装着することを特徴とする。

【0006】請求項2記載の買い物かごは、上記手段において、正面板2及び裏面板3は底面板1の前後縁部にそれぞれ軸着されると共に、左面板4及び右面板5とは底面板1の左右縁部にそれぞれ可撓体6で連結されることを特徴とする。請求項3記載の買い物かごは、上記手段において、手提げ用把手Hは、正面板2及び裏面板3にスライド及び起伏可能に装着したことを特徴とする。

## 【0007】

## 【発明の実施の形態】

【実施例1】図1は、本発明の実施例1に係る買い物かごの側面図、図2は、同実施例1の概略平面図、図3は、同実施例1の折り畳み状態の概略正面図、図4は、同実施例1の折り畳み状態の概略側断面図、図5は、同実施例1の組立途中を示す概略側面図、図6は、同実施例1の組立完了を示す概略側面図である。実施例1における買い物かごは、大別して入れ物部Bと手提げ用把手Hとからなる。

【0008】入れ物部Bは、底面板1と、正面板2と、裏面板3と、左面板（側面板）4と、右面板（側面板）5とからなる。底面板1は合成樹脂を素材として、圧縮成形により成形する。全体として長方形の板状体であり、略全面に通孔hとラグ1とを形成する。この板状体は入れ物部Bの底面を構成することになる。底面板1の前面縁には、正面板2を装着するための正面側立上部1aを形成し、該正面側立上部1aの上端縁には正面板取付軸1cを設ける。正面側立上部1aの高さは、後述の左面板（側面板）4又は右面板（側面板）5の厚みに略相当する長さである。

【0009】また、底面板1の後面縁には、裏面板3装着用の裏面側立上部1bを形成し、該裏面側立上部1bの上端縁には裏面板取付軸1dを設ける。裏面側立上部1bの高さは、正面側立上部1aの高さに後述の把手取付軸2bの厚みに略相当する長さを加えた長さとなる。正面板2は、底面板1同様に合成樹脂等を素材として形成し、多数の通孔hとラグ1を形成する。また、正面板2は底面板1の前面縁と同じ巾を有し、底面板1の側面より若干短い長さ（この長さがかごの高さとなる）を有する方形板よりなる。

【0010】正面板2の取付縁（組立時の下縁）は、正面板取付軸1cに回動可能に軸着し、その反対側の縁（かごの上縁となる）には把手取付軸2bを取り付ける。また、この正面板2の左右の縁にはそれぞれ2個の長方形の板体からなる係合部2aを正面板2の面に対して直角方向に取り付ける。裏面板3は基本的には正面

板2と同形状で、底面板1に対して正面板2と対称的に取り付ける。左面板(側面板)4は、底面板1の左側縁に左面板連結部4aを介して回転可能に取り付ける。左面板連結部4aは可撓体で合成樹脂の薄板物からなり、底面板1との一体物として成形してもよい。

【0011】左面板4は底面板1の左側縁と略同一長さを有し、その高さは入れ物部Bの高さと同一である。そして、その両側部、即ち正面板2と裏面板3との組立時に当接する部分にはそれぞれ係止部4bを形成する。右面板(側面板)5は、基本的に左面板4と同一形状である。右面板5は、底面板1の右側縁に右面板連結部5aを介して回転可能に取り付ける。右面板連結部5aは可撓体で合成樹脂の薄板物からなり、底面板1との一体物として成形してもよい。したがって、左面板4、左面板連結部4a、底面板1、右面板連結部5a及び右面板5は一体物として成形でき、製造コストを下げることも可能である。

【0012】本実施例では、左面板4及び右面板5を底面板1上に折り畳んだ状態において、左面板4及び右面板5が底面板1上で一つの平面となるように形成する

(図3参照)。すなわち、左面板4及び右面板5のそれぞれの高さを底面板1の幅の1/2とすることで、底面板1上に折り畳んだ状態で重なり合うことがなくなることから、正面板2及び裏面板3を折り畳んだ状態で底面板1と略平行になるように形成することができ、折り畳み時にコンパクトにすることができる。

【0013】手提げ用把手Hは、上記正面板2の把手取付軸2bと裏面板3の把手取付軸3bを向かい合わせて軸着する。手提げ用把手Hはそれぞれ逆U字形をしており、金属丸棒、合成樹脂棒等を素材として形成する。手提げ用把手Hの左右巾x(図2)は、正面板2の巾の1/2程度とし、手提げ用把手Hの高さy(図1)は裏面板3の前後巾より若干短い程度とし、それぞれ把持部を当接させたときに図1に示すような側面視3角形となるように構成する。なお、手提げ用把手Hの形状は逆U字形のほか、紐状の長尺体等種々考えられる。

【0014】上記構成により本実施例の買い物かごは、不使用時或いは持ち運び時は、図4に示すように折り畳んで板体とする。スーパーマーケット等に着いたところで、これを図1、6に示すように組み立てる。このとき、係合部2a、3aが、係止部4d、5bに係合する。即ち、底面板1に対して四面の板、即ち正面板2、裏面板3、左面板4及び右面板5を立ち上げて立方体形状の入れ物部Bとし、手提げ用把手Hを把持するようにする。そして、この状態でスーパーマーケット内で購入物を投入し、支払い後そのままこの買い物かごを持ち帰ればよい。また、この買い物かごから購入物を出した後は、組立時と逆の手順で折り畳めばよい。上記組立・折り畳みは、容易で迅速に行うことができる。しかも、素材として合成樹脂を使用することで、安価で軽量のもの

となる。特に、本買い物かごは箱体状を保持しているから、卵、豆腐等の形が壊れ易いものであっても都合がよい。

【0015】

【実施例2】図7は、本発明の実施例2に係る買い物かごの概略斜視図、図8は、実施例2の概略正面図、図9は、同実施例2の折り畳み作業図である。実施例2は、図7～9に示すように、手提げ用把手Hの取付手段が実施例1と相違しており、その他の構成要素は実施例1と同じである。実施例2では、手提げ用把手Hは、逆U字形であると共に、その両端部に直角状に形成した折曲部11を介して支持部10を連結しており、この支持部10を手提げ用把手Hと共に正面板2及び裏面板3の面内で摺動させて収納できるように構成し、手提げ用把手Hを最も引き出した状態で回転可能とする。したがって、その組立時において、手提げ用把手Hを正面板2及び裏面板3の面内からスライドさせて引き出すだけでよい。上記の手提げ用把手Hの構成、及び、正面板2及び裏面板3における手提げ用把手Hの収納部の構成を除いては、実施例1の構成及び効果と同じである。

【0016】

【発明の効果】本発明は、上記構成により下記の効果を奏する。

1. 請求項1記載の発明によれば、入れ物部Bと手提げ用把手Hとからなる買い物かごにおいて、入れ物部Bは、方形の底面板1と、該底面板1の前後縁部にそれぞれ起伏可能に連結される正面板2及び裏面板3と、底面板1の左右縁部にそれぞれ起伏可能に連結される左面板4及び右面板5とからなり、手提げ用把手Hは、正面板2及び裏面板3に起伏可能に装着することで、収納、運搬が容易で、且つ、箱体状を保持しているから、卵、豆腐等の形が壊れ易いものであっても、確実に保護させることができる。

【0017】2. 請求項2記載の発明によれば、上記効果において、正面板2及び裏面板3は底面板1の前後縁部にそれぞれ軸着されると共に、左面板4及び右面板5とは底面板1の左右縁部にそれぞれ可撓体で連結されることで、構成が簡単で、破損等の恐れも少なくなる。

3. 請求項3記載の発明によれば、上記いずれかの効果において、手提げ用把手Hは、正面板2及び裏面板3にスライド及び起伏可能に装着したことで、簡単な操作で手提げ用把手の引出しが可能であり、また、折り畳み時は、正面板2及び裏面板3に確実に収納することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例1に係る買い物かごの側面図。

【図2】同実施例1の水平断面図を含む概略平面図。

【図3】同実施例1の折り畳み状態の概略正面図。

【図4】同実施例1の折り畳み状態の概略側断面図。

【図5】同実施例1の組立途中を示す概略側断面図。

5

6

【図6】同実施例1の組立完了を示す概略側面図。

【図7】本発明の実施例2に係る買い物かごの概略斜視図。

【図8】同実施例2の概略正面図。

【図9】同実施例2の折り畳み作業図。

【符号の説明】

B・・・入れ物部      h・・・通孔      l・・・  
 ・ラグ  
 H・・・手提げ用把手  
 1・・・底面板  
 1a・・・正面側立上部      1b・・・裏面側立上  
 部  
 1c・・・正面板取付軸      1d・・・裏面板取付  
 軸

\* 2・・・正面板  
 2b・・・把手取付軸  
 2c・・・把手収納部  
 3・・・裏面板  
 3b・・・把手取付軸  
 3c・・・把手収納部  
 4・・・左面板  
 4a・・・左面板連結  
 部（可撓体）  
 4b・・・係止部  
 10 5・・・右面板  
 部（可撓体）  
 5b・・・係止部  
 10・・・支持部  
 \* 11・・・折曲部

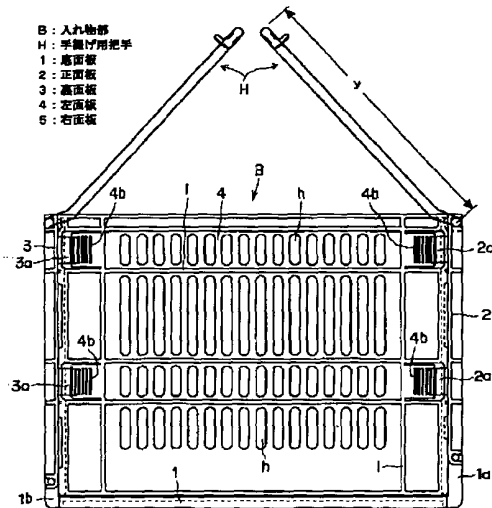
2a・・・係合部

3a・・・係合部

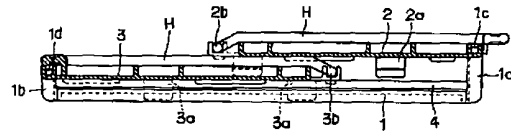
4a・・・左面板連結

5a・・・右面板連結

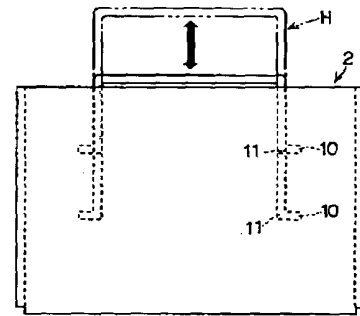
【図1】



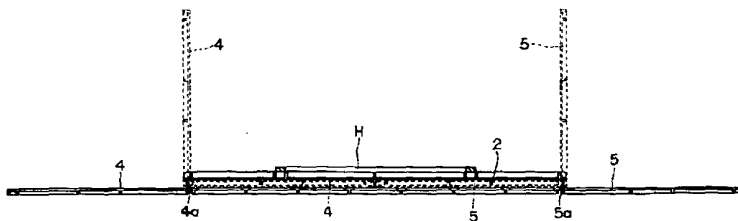
【図4】



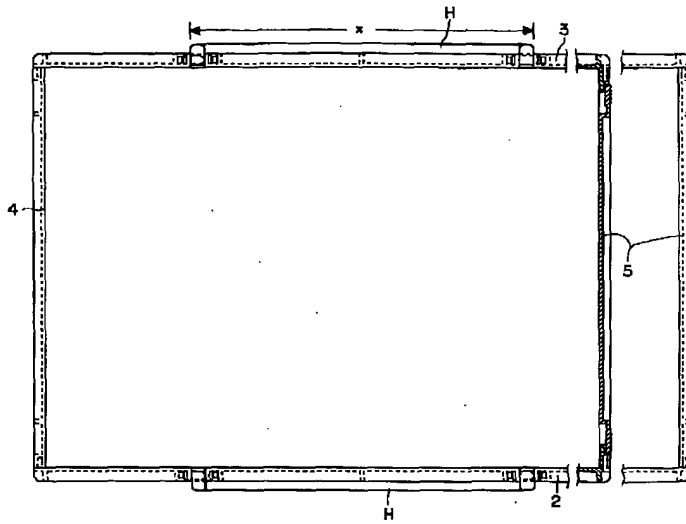
【図8】



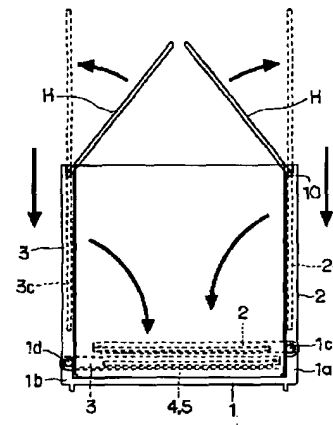
【図3】



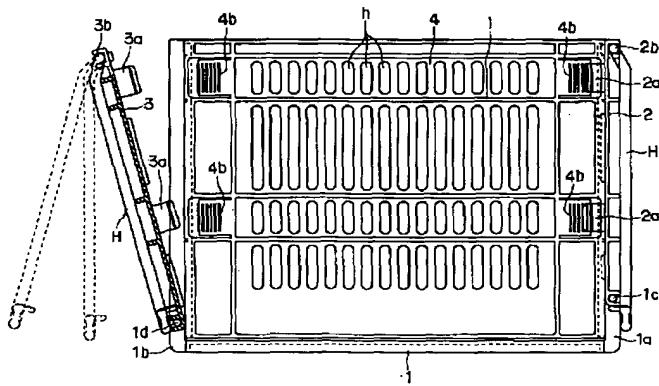
【図2】



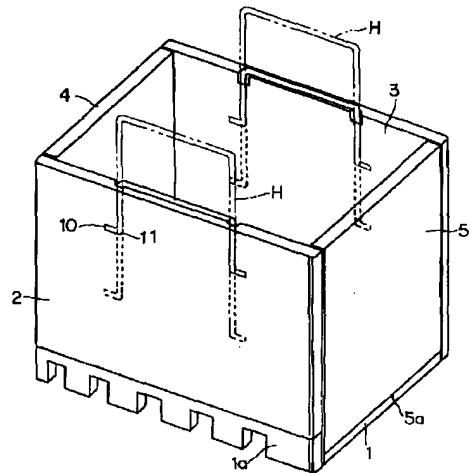
【図9】



【図5】



【図7】



【図6】

